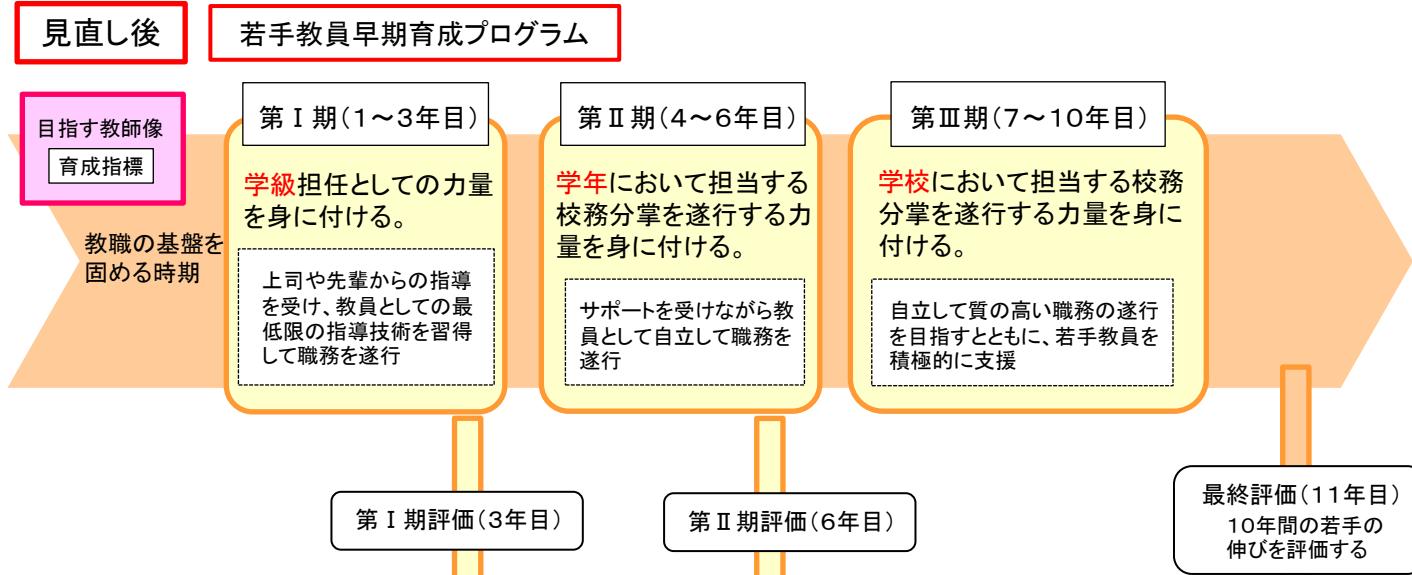
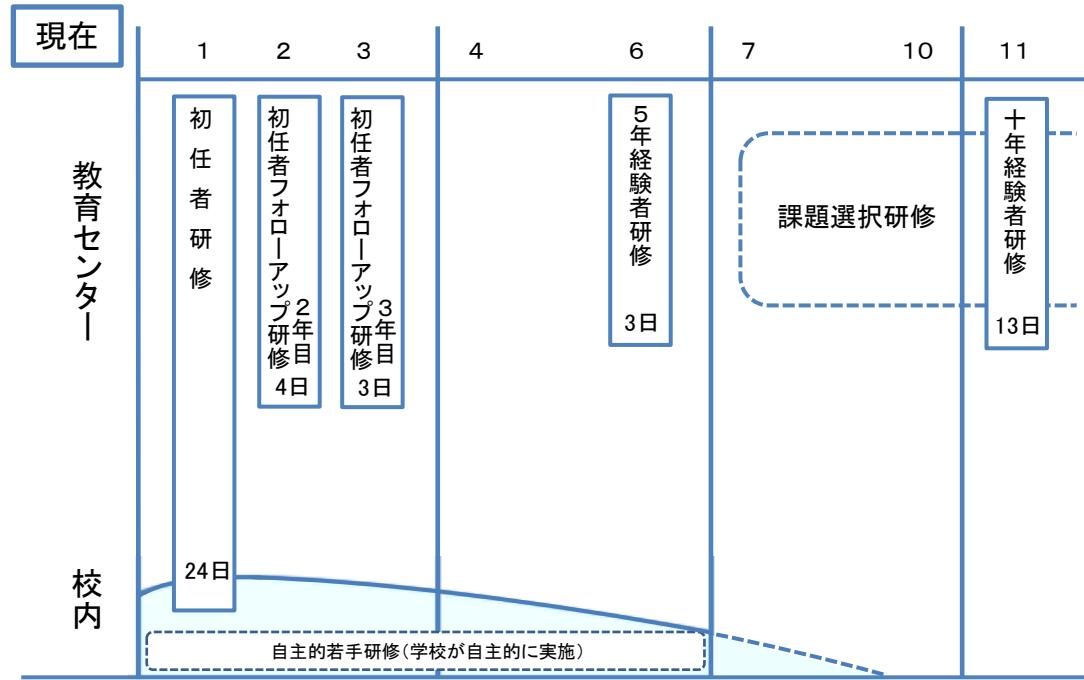


若手教員早期育成プログラムの確立



若手研修内容

- 「授業実践力」「生徒指導力」「課題解決力」
→ 県教委が研修メニューを示し選択
→ 校内研修サポートを要請して実施可能
- 各学校に応じた独自の内容
→ 例: 学力、生徒指導、特別支援、ICT活用 など

若手研修コーディネーター

- 各学校に1名コーディネーターをおく
→ 例: 研究主任、ベテラン教員、ミドルリーダー
- 役割
→ 管理職と連携し必要な研修を計画
→ 指導者(メンター)に研修を依頼
→ 教育センターに「校内研修サポート」を要請

